



APRSAF

ASIA-PACIFIC REGIONAL
SPACE AGENCY FORUM

第12回 宇宙法シンポジウム

APRSAF宇宙法制イニシアティブ 分科会の活動状況について

分科会主査、慶応義塾大学宇宙法センター研究員
栗山 育子

2021年3月1日（月）

目次

1. 分科会の概要
2. 分科会の背景
3. APRSAF宇宙法制イニシアティブ（NSLI）の活動状況について
4. NSLIを通じた研究成果
5. 分科会の活動実績
6. まとめ、今後の予定

1. 本分科会の概要

◆研究テーマ：

アジア太平洋地域の宇宙活動に関する国内法の制定状況の調査分析

◆内容：

APRSAFのイニシアティブ「宇宙法制イニシアティブ（NSLI）」の実施（特に報告書の作成）に必要な調査分析及びその企画と成果のとりまとめを共同して実施する。

◆メンバー：

- ・慶応大学：青木節子教授
- ・JAXA：調査国際部 栗山（主査）、鍵和田（～9月）、小島（10月～）
法務・コンプライアンス課 菊地、岩井

2. 分科会の背景①

アジア太平洋地域の宇宙政策コミュニティ形成の取り組み

- ◆2017年から、アジア太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF）の枠組みを中心に展開。
- ◆地域の宇宙政策関係者のコミュニティを形成。各国の宇宙政策に関する相互理解を促進し、地域の共通課題に対する各国の政策的対応につなげる。宇宙政策セッションや実務家ワークショップ等を開催。
- ◆2019年APRSAF-26@名古屋で「宇宙法制イニシアティブ（NSLI）」立ち上げ
→APRSAFにおける政策分野の初のイニシアティブ（情報交換から共同活動へステップアップ）。
APRSAF名古屋ビジョンにも貢献。



2. 分科会の背景②

国内法制定勧告（2013年国連総会決議）（A/RES/68/74）



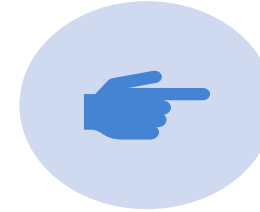
法の適用範囲
(宇宙活動の範囲)



国家管轄権の
適用範囲



活動の許可制度で
配慮すべき事項



主要な許可条件



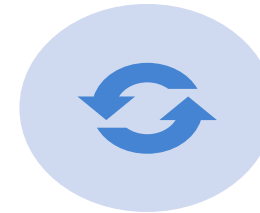
監督制度の構築



宇宙物体の登録制
度



第三者賠償・保険



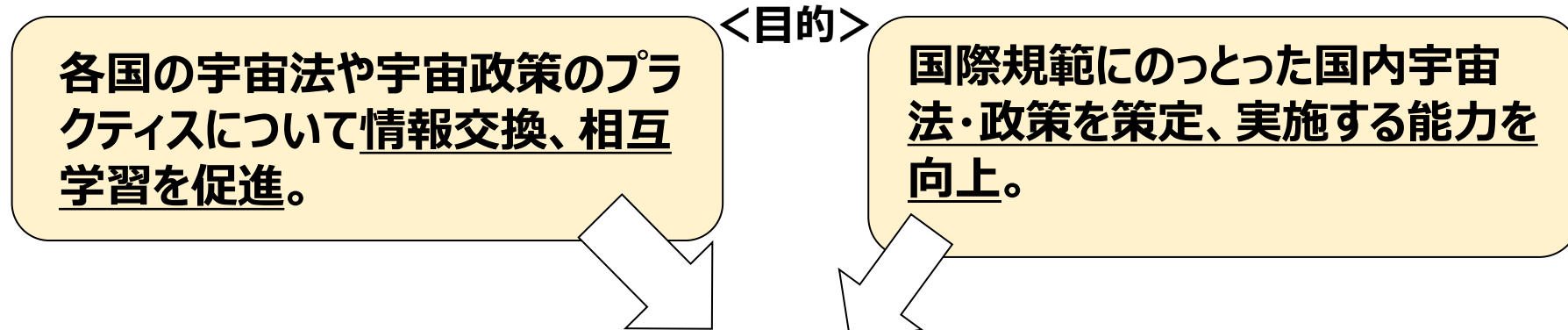
軌道上での宇宙物体所
有・管理移転などの新し
い現象についての規定

- ◆ 以降、国内宇宙法の情報交換がCOPUOS法律小委員会で毎年議題化（但し、情報提供少ない）。
- ◆ 一足飛びに国内法を制定するのは困難。各国のプラクティスを学び、段階的に作り上げること有効。

3. APRSAF宇宙法制イニシアティブ（NSLI）の活動状況

National Space Legislation Initiative (NSLI)

- ◆ メンバーシップはアジア太平洋諸国の政府機関にオープン。
- ◆ 宇宙法・政策実務家の“Study Group”を組織。9か国17機関から約40名が参加。
- ◆ 期間は約2年間。2021年APRSAF-27まで。



- ◆ 参加国の国内宇宙法の状況を分析、報告書を取りまとめ。
- ◆ 国連COPUOS 法律小委員会(2021)に提出、APRSAF-27で結果報告。
- ◆ NSLIの経験を踏まえ、政策・法に関するWG設置の検討。



(豪、印、インドネシア、日、韓、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム)

NSLIの運営

実施体制

- ◆ SG共同議長：日本：青木慶応大学教授、ベトナム：科学技術省Dao Ngoc Chien氏
- ◆ SG日本メンバー：青木教授、内閣府、外務省、文科省
- ◆ 事務局：JAXA

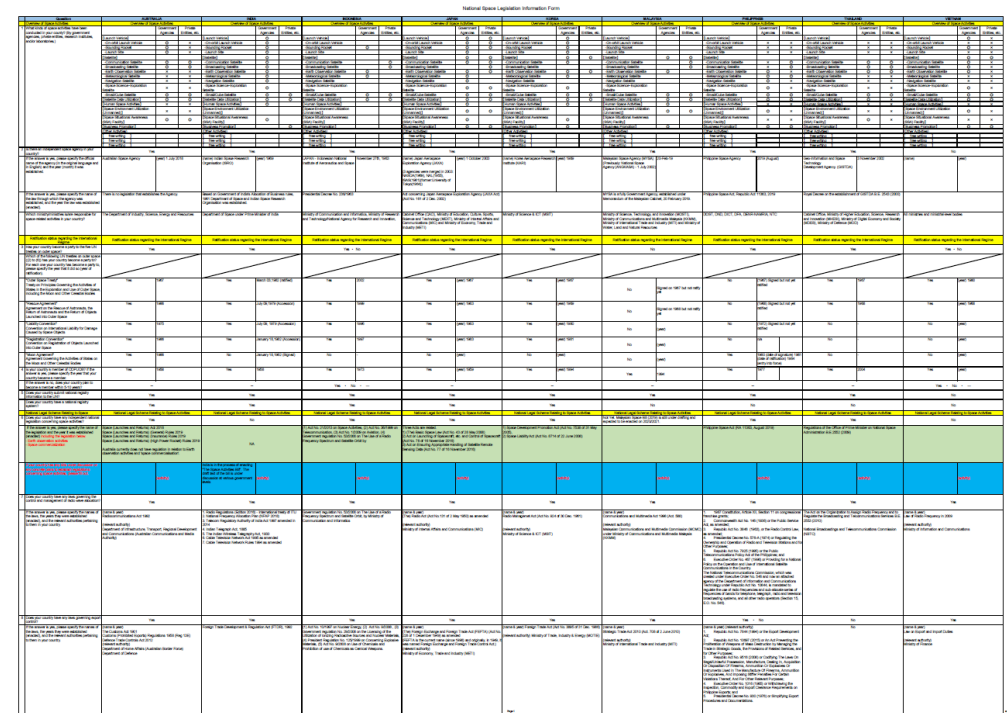
実施状況

- ◆ コロナのため、対面に代えて、ほぼ毎月Study Groupのテレコンを開催。
- ◆ 毎回約20名～30名程度の参加。各国から報告、議論。
→従来なかった密なコミュニケーションを確保。

Information form

議論・分析の枠組み

- ◆ 2013年国連決議「国内法制定勧告」に沿った質問リストとエクセルの回答様式（information form）を活用。
→参加国の情報提供を促進、情報を比較可能に。
国連（出口）への貢献を意識。



The image shows a complex spreadsheet titled "National Space Legislation Information Form". It is organized into multiple columns and rows, with some rows highlighted in yellow and others in blue. The columns contain various questions and data points related to national space legislation. The rows represent different countries, with some cells containing text and others containing numerical data or checkmarks. The spreadsheet is used for collecting and comparing information from various nations regarding their space laws and regulations.

質問リスト

1	宇宙活動の範囲
2	宇宙機関と設置法
3	主要宇宙条約への加盟状況
4	COPUOS加盟状況
5	宇宙物体の登録制度
6	国内宇宙法の状況
7	周波数管理の法令の状況
8	輸出管理の法令の状況
9	衛星運用に係る法規則または行政手続きの状況、許可条件
10	国外での衛星打上げとライセンス
11	射場運用と適用法規則
12	ロケット打上げに係る法規則または行政手続きの状況、許可条件
13	民間打上げにおける第三者賠償・保険
14	第三者賠償に対する政府補償メカニズム
15	デブリ低減のための法的措置
16	宇宙の商業化の関連法令

(※本リストは質問の大まかな内容を示すもの。すべての質問を正確に反映しているものではない)

4.NSLIを通じた研究成果（調査結果）

- ◆アジア太平洋諸国の国内宇宙法の状況に関する報告書
- ◆2021年6月のCOPUOS法律小委員会の正式資料として、参加9カ国から共同提出予定。現在、各国が政府内手続き中。
- ◆報告書については、COPUOS提出後に一般公開。
- ◆質問リストへの回答や各国からのプレゼンの情報を基にドラフト。

（※本日の報告範囲は公開済みの内容に限定）

NSLIの意義・重要性 (Findings)

◆ NSLIモデルの特徴・利点：

- ✓ 地域の実務家間が各国の実例を相互学習。共同で分析、報告書をドラフト。
 - 国内法の制定・発展の一助となる。
 - 実務家間のネットワーク構築。
 - 相互理解、共通理解を醸成。
- ✓ 国連決議に基づいた情報交換、議論。
 - (アジアからの提出が少ない) 国連への情報提供を直接的に促進。

地域的観点：
**地域専門家の実務能力の向上、地域課題解決のための協力基盤
の構築に貢献**

＜意義＞

国際的観点：
**宇宙活動の持続性、宇宙空間の
安定的利用に貢献**

国内宇宙法の整備や実施の能力向上のための効果的な地域モデル

5.分科会の活動実績

◆開催実績

- ・NSLI Study Group会合及び準備会合含めて、約40回開催。

◆国内勉強会

- ・中国法政策勉強会、2020年10月21日（オンライン開催）
講師：慶應義塾大学大学院法務研究科非常勤講師 陶陽子氏

◆国際会議での発信

- ①71st International Astronautical Congress (IAC) – The CyberSpace Edition, 12-14 October 2020 (IISL Session) : 論文発表及びビデオレクチャー

“A Regional Initiative for Studying the Status of National Space Laws” (IAC-20-E7.5.10)

<https://iafastro.directory/iac/paper/id/58319/summary/>

- ②APRSAF Online 2020, 19 November 2020: イニシアティブ報告（ビデオ）

https://www.aprsaf.org/annual_meetings/online2020/meeting_details.php

6.まとめ、今後の予定

NSLIについて

- ◆報告書提出後→国連COPUOSのWEBサイトで公開、APRSAFのNSLI WEBサイトにも掲載予定。
- ◆今後は、APRSAF-27に向け、活動結果をまとめ、WGの設置について検討。

分科会として

- ◆約40回の会合開催、国際会議への参加等、活発に活動。
- ◆実践を通じながらの研究活動としてユニークな試み。所定の狙いや成果もあげつつある。
- ◆慶応大学とJAXAの共同研究としての位置付けを来年度も継続予定。

“今後もAPRSAFにおけるNSLI等の取組みを通じて、宇宙法政策に関する相互理解を促進し、地域の宇宙開発利用、社会経済発展に貢献していきます”

(参考) 宇宙法制イニシアティブWEBサイト

※NSLIの報告書及びInformation Formについては、COPUOSに提出後、一般公開になった段階で、こちらのWEBに掲載予定。

A screenshot of the NSLI website's "National Space Legislation Initiative" page. The page has a blue header with navigation tabs: "About APRSAF", "Annual Meetings", "Participants", "Working Groups", "Initiatives", "New Efforts", "Interviews", "FAQ", and "Event Calendar". Below the header is a breadcrumb trail: "HOME > Initiatives > National Space Legislation Initiative". A left sidebar contains a list of links: "About Initiatives", "Sentinel-Asia", "SAFE", "Kibo-ABC", "National Space Legislation Initiative", and "Climate R³ [Completed]". The main content area has a blue header "National Space Legislation Initiative" with a "Member Only" button. Below this is a large group photo of participants at a "Space Policy Practitioners Workshop" during APRSAF-26. The photo shows a diverse group of people holding a banner that reads "Space Policy Practitioners Workshop" and "The 26th Session of the Asia-Pacific Regional Space Agency Forum, November 26-29, 2019, Nagoya, Japan". Logos for MEXT, APRSAF, and JAXA are visible at the bottom of the banner. Below the photo is the caption: "Photo of Space Policy Practitioners Workshop during APRSAF-26". A blue section header "Background/Objectives/Activities" is followed by text stating the initiative's objectives and a bulleted list: "To promote information sharing and mutual learning on the practices and examples of national space".

https://aprsaf.org/initiatives/national_space_legislation/index.php